

認知症になるとして③

運転免許返上

「次に父を連れてきますから、運転をやめるように先生から強く言ってください」と頼まれることが多くなってきました。運転をあきらめていただくしかない状況のかたもいらっしゃいます。高齢者の人身事故が多発しニュースで流れることが多いので、ご家族の心配は痛いほど伝わってきます。近所に住んでいる子どもさん達の列に突っ込んだら、今のところに住み続けるのが難しくなってしまうでしょう。説得は一生懸命します。でも私が強くやめろといっても、そしてその場では分かりましたと首を縦に振ってくれても、実際のところはわかりません。そのかたが車を使う理由をききだして、それを一つ一つ解決しないかぎり、運転してしまおうとおもいます。買い物、病院への通院、ゴミ出し、それぞれ車がないとできないと固く思っているからです。

ただこの前、話し合っていて感じました。そういう時はタクシーを使えばいいじゃないですか、車持つより安いですよ、といった際に、ところでタクシーの呼び方、ご存じですか？と聞いたら、「いや知らない。今まで車しか使っていないから」との答え。バスの乗り方は？「いや知らない。今まで車しか使っていないから」。「車を運転できない時は、息子が来て車で連れて行ってくれるんですよ」。息子さん、娘さん、タクシーの呼び方を電話の横に貼り、一緒にタクシーで買い物に出かけてみましょう。



こんなに簡単にタクシーを呼べるんだ、というのを実感すると、考え方が変わってタクシーを気軽に使ってくれるかもしれません。また、一緒に「太川・蛭子の路線バス乗り継ぎの旅」を見ましょう(BS 東京のテレビ番組です)。私は路線バスがとてもなじみ深いものとなり、また15分の待ち時間は短いと思えるようになってきました。

安全装置付きの車に乗り換えたら？という話では、買い換えるお金がない、車が変わると運転操作があぶなくなる、車庫に入らないなどの話が出ました。自動車用品のオートボックスで「ペダル見張り番」(32399円)を今お使いの車に装着できます。アクセルをゆっくり踏めば普通に走り、急に踏み込むと反応しない、という優れものです。要は踏み間違いによる急発進、急バックを予防する装置。慣れた車を使い続けることができるのが有利な点です。それでも納得してくれない時は強硬手段になるでしょうね。盗難予防用のハンドルロックをかける、バッテリーをはずして廃車、でしょうか。この前は、奥様が運転するので廃車にはできない、という話になりましたが。



私も息子達にこうせい、あせいといわれたら、腹が立っちゃうかもしれない。心配してくれているのは分かるけど、仕方ないから運転してるんだ、って言っちゃうかもしれない。でも事故を起こしたくはない。難しい選択ですが、冷静に考えられる間に車なしの生活を検討し、練習しておこうと思います。

所長 宮下 明